



2020年 12月 1日
第67号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2020 原子力艦事故避難訓練 開催しました！



11月21日、2020原子力艦事故避難訓練が横須賀の地で開催され、横浜地本の仲間も参加してきました。

米海軍横須賀基地には、原子力空母ロナルド・レーガンや原子力潜水艦も寄港しています。

原発に対しては事故が起きた際、各自治体に避難計画が義務付けられていますが、原子力艦船の事故の場合は、周辺住民の避難計画は立てられていません。



放射性物質が身体に付着しないようにレインコート、マスク、帽子などを着用して訓練しましたが「夏場はとても蒸し暑く、歩いて避難することは難しい」と感じた人もいました。「もし原子力艦事故が起きても半径1キロ以内が避難」という見解が出されています。しかし、半径1キロ以内は基地内であり住民の避難は想定されていません。住民の命を守るために“想定外”に備え国や自治体は避難計画を立てなければなりません。

原子力空母・潜水艦の横須賀寄港は1000回を超えました。寄港に際しても過密航路の浦賀水道を通り抜けることから、いつ事故が起きてもおかしくはありません。私たちも基地の危険性や身近に原子炉があることを忘れず、事故が起きた際に自分の命を守る行動をとれるよう日頃からの備えが必要です。

**神奈川で働く私たちが基地の問題に関心を持ち
原子力艦事故が起きた場合、どのように避難するか考え
命を守るために日頃から備えよう！**